

「第4回テレQアナウンスコンクール」大会規定

■目的

美しい日本語を話す力や表現する力を育み、伝えることの大切さ、楽しさを知ってもらうため、「放送」に興味のある中高生に「アナウンス」「ナレーション」の技術を発表する場として開催する。決勝大会はテレQのスタジオで行い、放送現場を体験してもらう。

■主催

株式会社 TVQ九州放送

■日程

作品応募 2024年11月1日(金)～2024年12月16日(月) ※必着

予選審査 提出データをもとに審査を行い、2025年1月15日(水)までに大会HPで、決勝大会進出者を発表。(各部門12名程度を予定)

決勝大会 2025年2月16日(日) 午前：中学生の部 午後：高校生の部

※決勝大会の審査会場：テレQ福岡本社「第1スタジオ」(福岡市博多区住吉2-3-1)

※当社までの交通費は各自でご負担ください。

※決勝大会の様子はテレQ公式YouTubeでライブ配信します。

■コンクールの各部門

(1) アナウンス部門〈中学生の部、高校生の部〉

地域・校内の魅力的なニュース(400字以内)を制作し、読むものとする。

(2) ナレーション部門〈中学生の部、高校生の部〉

主催者が準備する3種類の映像から1つを選択し、映像に合わせ指定のナレーション原稿を読むものとする。

■表彰

・部門ごとに金賞、銀賞、銅賞を設け、賞状と盾を贈る。

部門ごとに審査員特別賞として1名に賞状を贈る。

・入賞者は、「テレQニュース+」に生出演。

学生キャスターとしてニュースを読むことが出来る。(2025年3月予定)

尚、当社までの交通費は各自でご負担ください。

■応募資格、エントリーについて

(1) 2025年2月末時点、以下の学校および各種学校に在学中の生徒であること

中学生の部

- ① 中学校、中等教育校の前期課程および義務教育学校の後期課程
- ② 特別支援学校の各中等部
- ③ 各種学校（修業年限が中学校と一致していること）

高校生の部

- ① 高等学校、中等教育校の後期課程
- ② 特別支援学校の各高等部
- ③ 各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）

(2) 各部門への応募は、応募資格に該当する学校の生徒であれば、放送部に所属している必要はない。保護者の同意を得て、応募するものとする。

(3) アナウンス部門の応募作品は、応募資格に該当する学校の生徒の取材、制作に限る。また、本コンクールにおいて未発表であれば、ほかのコンクールなどに応募（参加）した作品およびそれを加筆・修正したものでも応募を認める。

(4) 各学校からのエントリー枠の上限は設けない。

(5) アナウンス部門、ナレーション部門の両部門にエントリー可能だが、1人各部門1作品までとする。

(6) コンクール応募作品の著作権は、制作者に帰属する。

※当コンクールに応募した段階で主催者が行う放送、イベントでの上映、ホームページ・印刷物への掲載等について、応募作品の利用（必要により編集その他の改変を行うことを含む）を許諾したものとする。

※主催者が行う利用以外で発生したトラブルについて、主催者は一切の責任を負わない。

※ナレーション部門の応募作品について、主催者が制作した映像とともに他で使用する場合は、映像利用について主催者の許諾を得るものとする。作品の利用については、十分な注意と配慮、責任を持って行うものとする。

(7) エントリー期間

2024年11月1日(金)～2024年12月16日(月) ※必着

(8) 参加費

1人1作品 1,500円 ※各部門1人1作品まで、両部門エントリー可

(9) 応募方法

- ① コンクール HP から応募フォームによる受付
- ② 郵送による受付（MP3 音声データを保存した CD）

■ エントリー特典

- (1) 応募者全員を対象に、テレ Q スタジオ見学&アナウンス講習会を開催
※詳細は後日掲載
- (2) 応募作品全てに、テレ Q アナウンサーからワンポイントアドバイス

■ 個人情報の取扱いについて

コンクールで収集した個人情報については下記の目的に使用する。

- (1) 参加者（参加校）との連絡などコンクールの実施・運営
- (2) 主催者が行う放送
- (3) 主催者が行う Web 等での映像配信サービス
- (4) 主催者が行うイベントでの上映・Web サイト・印刷物への掲載
- (5) 主催者が管理する Web サイトへの決勝大会の入賞者名・入賞校名の無期限の掲載
- (6) 主催者が行うアナウンススクールのご案内

※コンクールに応募した段階で、許諾したものとする。

■ 審査基準

(1) アナウンス部門

- ・地域、学校で起こったニュースを魅力たっぷりに伝えられているか。
- ・的確な表現が使われているか。
- ・内容を把握し、聞き手に伝わりやすく、正確なアナウンスになっているか。
- ・アクセント、イントネーション、テンポ、間が的確か。

(2) ナレーション部門

- ・映像に合わせたテンポで読むことができているか。
- ・ナレーションの雰囲気が映像とマッチしているか。
- ・アクセント、イントネーション、テンポ、間が的確か。